



**Fly Casting Rule Book**  
**JCSF編・日本語版**



1. 総則

以下の項目は全ての種目に適用されるものとします。

1. 投擲順: 投擲の順番は主催者によって定められる。
2. 決勝: 予選を行う場合、6名の選手が決勝に進出する。決勝戦の投擲順は予選ラウンドのスコア順に定めるものとし、予選ラウンド6位の選手から決勝の投擲を行う。各種目15名以上の選手が出場する場合は決勝戦を行うこととする。
3. キャストオフ: 予選ラウンドで6位、及び、決勝で1～3位が同じ記録だった場合、関連する選手はキャストオフを行う。決勝戦を行わない場合は、6位決定のためのキャストオフは行わない。
4. アシスタント: 選手は、フライの交換やノットを解く等の目的でアシスタントを1名使うことができる。
5. 競技時間: 選手は、競技をしている最中に、フライやリーダーが外れた等のトラブル以外の目的で、使用中の道具を交換することはできない。もしロッドが折れるなどのトラブルが生じた場合は、トラブル発生時から道具の交換終了まで競技時間の計測は止められる。有効なキャスト中に制限時間内にフライが着水しているものとする。
6. 処罰: ルールに反するキャストイングを行った場合は、その種目は失格となる。
7. 陪審: 陪審員は3名で構成され、下記の業務を遂行するものとする。  
a) 抗議受領 b) 規則の違反を確認し処罰を決定する c) 主催者と協議し、その判断を決定する
8. 抗議: 抗議を行う場合は、記録が発表されてから30分以内に書面にて陪審に提出しなければならない。
9. ドーピング: 全ての参加者は、国際オリンピック委員会 (IOC) が定めるWADAに準拠した規則に従う義務を負うものとする。

2. 世界選手権

世界選手権開催には、下記の要件が必要となる

1. 参加: それぞれの種目に参加出来る人数は、各国から8名。そのうち女子は3名を上限とし2か国以上の参加が必要、男子は5名を上限とし3か国以上の参加が必要。
2. クラス: a) 男性クラス、b) 女性クラスの2つに分ける。

<2014年度の暫定措置>

- JCSFでは、フライキャストイングトーナメントにおける競技ルールを、広く海外で使われている基準に合わせて運営していきたいと考えております。しかし、今まで日本国内で行われていたフライキャストイングトーナメントは、残念ながら、世界標準とは異なるルールで運営されてきました。このため「新しいルールに則った道具をすぐに揃えることができない」ということを鑑み、2014年度に開催される大会では、以下の様に暫定ルールを定めたいと考えます。

<競技用フライラインに関して>

◎トラウトアキュラシー、トラウトディスタンス

国際ルール: 「ラインは3M社マスターイーエキスパートディスタンWF5Fのみ使用可」

**暫定ルール: 「ラインをお持ちでない方は、大会時に主催者側で競技用ラインを貸し出します。競技を行う際は、用意された競技用ラインを使って出場してください」**

◎スペイ・ディスタンス種目

国際ルール: 「ラインの改造は認められる。ただし直径は3mm以下とする」


暫定ルール: 「2014年度に限り、現在使用中のラインを使って、競技会に出場することができる」

**\* ただし、自分の記録を2015年度以降にも残しておきたいと考える場合は、国際標準ルールに則ったスペックのラインをご使用ください。**

以上、お含み置きいただけますよう、よろしくお願いいたします。




## タックル

1. ロッド;  
全長、275.5cm以下(参考:9フィート=274.3cm)のフライロッド(市販・自作、AFTMAクラスを問わない)。
2. フライライン;  
 **3M社製『マスターイーエキスパートディスタンスCompetition WF5F(オレンジ,120 ft.)』のみ使用可。カット・スプライス等のフライラインの改造は不可。**
3. リーダー;  
モノフィラメント製。長さは2.5m以上で上限はない。ティペット部分の長さは40cm以上、直径は0.30mm以下であること。
4. フライ;  
使用するフライは、主催者が支給するものに限る。
5. コート;  
直径60cm, 120cm, 180cmの3つの同心円のリングからなる4つのターゲットを用いる。投擲台からターゲットまでの距離は、8mから15mの距離に任意に設置する。距離は、投擲台の前面中央からターゲットの中心までの距離を計測する。ターゲットの配置及び距離は、予選と決勝とは異った配置のコートを用いる。投擲台の大きさは1.2m×1.2mとする。
6. 投擲順;  
ターゲットを左から右に1-2-3-4-1-2-3-4-1-2-3-4-1-2-3-4-1-2-3-4の順で16回投擲を行う。
7. キャスティングの方法;  
オーバーヘッドキャストのみとする。ロッドの先端から出ている分のラインの長さの調節は、フォールキャスト中のみ行うことができるものとする。スタート時、選手はフライを手を持っていること。ロッドの長さ以上のフライラインをロッドの先端から出しておくことはできない。
8. 制限時間;  
5分間
9. スコア;  
フライがターゲットの内側あるいは輪に当たった場合に、ヒットとして加点。中央のターゲットに当たった場合は5点、中間のリングとの間は3点、外側のリングと中間のリングとの間は、1点を加点する。フォールキャスト中にフライやリーダー、ラインが水面に触れた場合は、0点となり、選手は次のターゲットに移動しなければならない。競技者のスコアが同点だった場合は、試技終了までの時間が短いものを上位とする。80点満点。

# トラウトディスタンス

## タックル

1. ロッド;  
全長、275.5cm以下(参考:9フィート=274.3cm)のフライロッド(市販・自作、AFTMAクラスを問わない)。
2. 2. フライライン;  
 **3M社製『マスターイーエキスパートディスタンスCompetition WF5F(オレンジ,120 ft.)』のみ使用可。カット・スプライス等のフライラインの改造は不可。**
3. リーダー;  
モノフィラメント製。長さは3m以下。ティペット部分の直径に制限はない。
4. フライ;  
主催者により支給されるヤーンまたはウールに限る。
5. コート;  
投擲したフライは、平行に張られたコートの中に着水しなければならない。コートの幅は5~10mとし、最低でも50mの距離を取る。投擲台の幅も、コートと同一とする。
6. 制限時間;  
4分間
7. 成績;  
記録は投擲位置からフライまでを計測し、50cm刻みで最も近い距離を計測するものとする。選手が制限時間以内に投擲した最長の飛距離を記録とする。複数の選手が同一の飛距離で並んだ場合は、次長の記録をもって順位を定めるものとする。



## タックル

### 1. ロッド;

全長、306cm以下(参考:10フィート=304.8cm)のフライロッド(市販・自作、AFTMAクラスを問わない)。

### 2. フライライン;



フローティングタイプのフライライン。ヘッドの重さは27g以下。フロント側及びリア側のテーパ部分も含め、直径が1mm以上ある箇所はフライラインの重量としてみなされる。フライラインのいかなる部分も、直径が2mmを超えてはならない。

### 3. ランニングライン;

直径0.35mm以上1mm以下。如何なる部分も1mmより太くなってはならない。1mm以上の部分はフライラインとみなされ、ヘッド重量に含まれる。

### 4. リーダー;

全長3m以下のモノフィラメント。ティペットの太さに制限はない

### 5. フライ;

主催者により支給されるヤーンまたはウール

### 6. コート;

投擲したフライは、平行にはられたコートの中に着水しなければならない。コートの幅は5~10mとし、最低でも50mの距離を取る。投擲台の幅も、コートと同一とする。

### 7. 制限時間;

4分間

### 8. 成績;

記録は投擲位置からフライまでを計測し、50cm刻みで最も近い距離を計測するものとする。選手が制限時間以内に投擲した最長の飛距離を記録とする。複数の選手が同一の飛距離で並んだ場合は、次長の記録をもって順位を定めるものとする。

# サーモンディスタンス

## タックル

### 1. ロッド;

全長、460cm以下(参考:15フィート=457.20cm)のフライロッド(市販・自作、AFTMAクラスを問わない)。

### 2. フライライン;

フローティングタイプのフライライン。ヘッドの重さは55g以下。フライラインの改造は認められる(混合可)ものの、フロント側及びリア側のテーパ部分も含め、直径が1.1mm以上ある箇所はフライラインとみなす。ラインのいかなる部分も、直径が3mmを超えてはならない。

### 3. ランニングライン;

直径0.35mm以上1.1mm以下。如何なる部分も1.1mmより太くなってはならない。1.1mm以上の部分はフライラインとみなされ、ヘッド重量に含まれる。

### 4. リーダー;

全長5m以下のモノフィラメント。ティペットの太さに制限はない。

### 5. フライ;

主催者により支給されるヤーンまたはウール。

### 6. コート;

投擲したフライは、平行にはられたコートの中に着水しなければならない。コートの幅は5~10mとし、最低でも50mの距離を取る。投擲台の幅も、コートと同一とする。

### 7. 制限時間;

4分間


### 8. 成績;

記録は投擲位置からフライまでを計測し、50cm刻みで最も近い距離を計測するものとする。選手が制限時間以内に投擲した最長の飛距離を記録とする。複数の選手が同一の飛距離で並んだ場合は、次長の記録をもって順位を定めるものとする。






タックル

1. ロッド;  
全長、460cm以下(参考:15.1フィート=459.74cm)のフライロッド(市販・自作、AFTMAクラスを問わない)。
2. フライライン;  
 **フライラインの改造は認められる(混合可)ものの、フローティグラインで、最大直径が3mm以下とする。**
3. ランニングライン;  
制限なし
4. リーダー;  
全長5m以下のモノフィラメント。ティペットの太さに制限はない
5. フライ;  
主催者により支給されるヤーンまたはウール
6. コート;  
コートは40度のV字形を使用する。選手は水深2フィートまでの場所に立つ。  
キャスト開始時には、フライラインはVコートの外側に置いておく。選手はもう一方のサイドラインの外側に向かって投擲すること。アンカー・セットの時、フライは投擲台の前方になければならない。
7. 必要なキャスト;  
a) 右から左 b) 左から右
8. 制限時間;  
6分間。ウォーミングアップなし。
9. 成績;  
記録は投擲位置からフライまでを計測し、50cm刻みで最も近い距離を計測するものとする。  
選手が制限時間以内に投擲した最長の飛距離を記録とする。複数の選手が同一の飛距離で並んだ場合は、次長の記録をもって順位を定めるものとする。

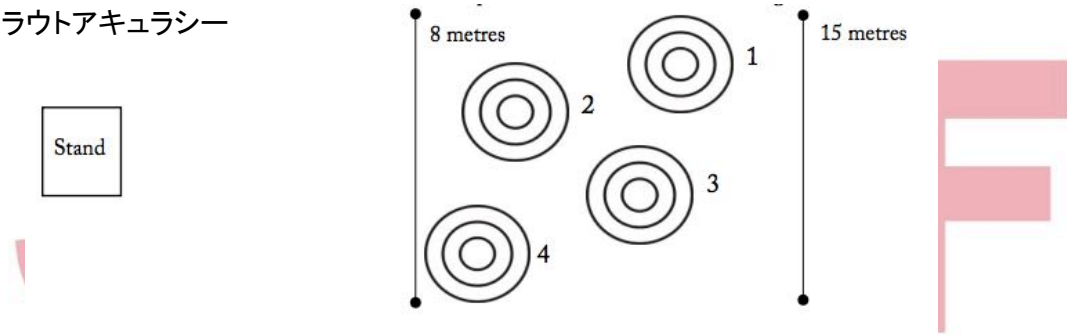
スピーディスタンス 18'(男子) & 16'(女子)

タックル

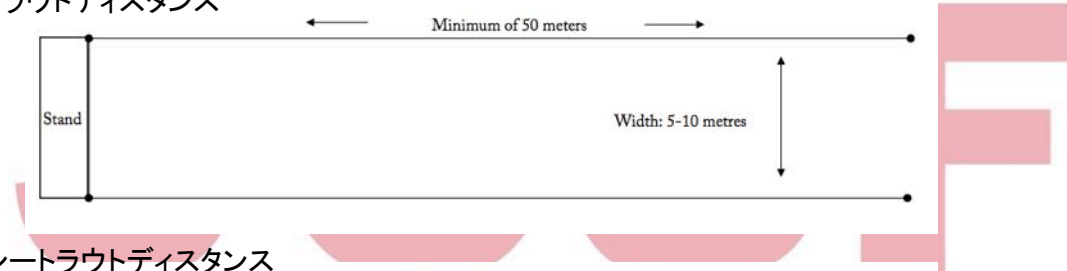
1. ロッド;  
全長、男子は550cm以下(参考:18フィート=548.64 cm)のフライロッド、女子は489cm以下(参考:16フィート=487.68 cm)のフライロッド(市販・自作、AFTMAクラスを問わない)。
2. フライライン;  
 **フライラインの改造は認められる(異種混合可)が、フローティグラインで、最大直径が3mm以下とする。**
3. ランニングライン;  
制限なし
4. リーダー;  
全長6m以下のモノフィラメント。ティペットの太さに制限はない。
5. フライ;  
主催者により支給されるヤーンまたはウール。
6. コート;  
コートは30度のV字形を使用する。選手は投擲台の上に立つ。キャスト開始時には、フライラインはVコートの外側に置いておく。選手はもう一方のサイドラインの外側に向かって投擲すること。アンカー・セットの時、フライが投擲台の前方になければならない。
7. 制限時間;  
6分間。ウォーミングアップなし。
8. 成績;  
記録は投擲位置からフライまでを計測し、50cm刻みで最も近い距離を計測するものとする。  
選手が制限時間以内に投擲した最長の飛距離を記録とする。複数の選手が同一の飛距離で並んだ場合は、次長の記録をもって順位を定めるものとする。



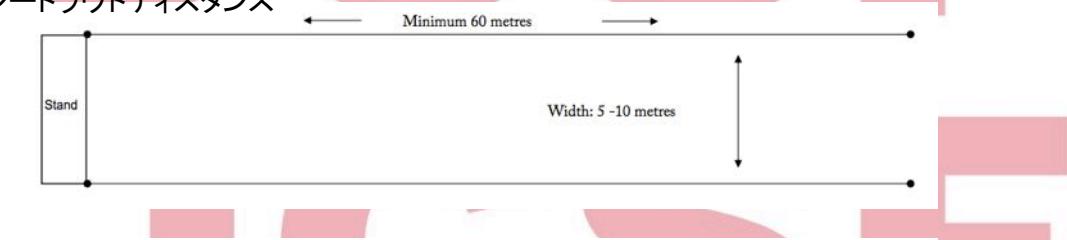
●トラウトアキュラシー



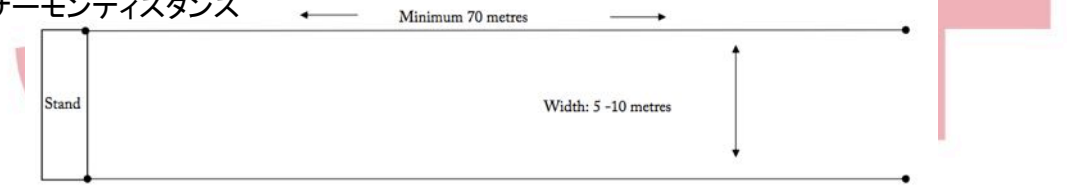
●トラウトディスタンス



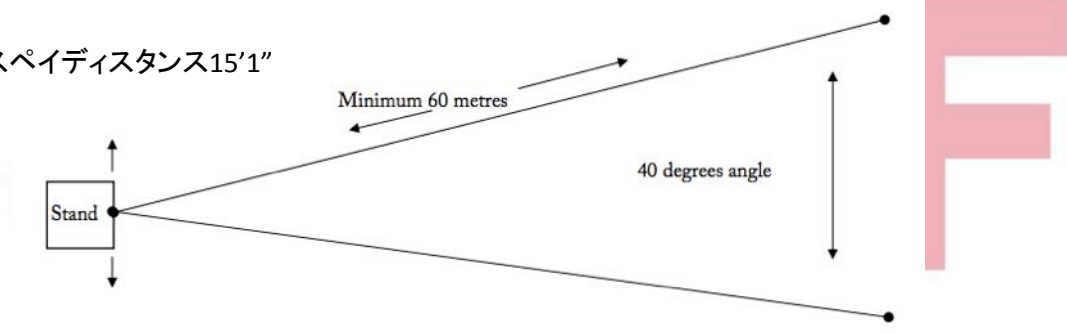
●シートトラウトディスタンス



●サーモンディスタンス



●スペイディスタンス15'1"



●スペイディスタンス18'&16'

